



V18
5/27

東京・吉祥寺で初行動

189人参加 1時間で646人署名

戦争法をなくしたい！オール市民の会

戦争法の廃止に向けて、市民団体「戦争法をなくしたい！オール市民の会」が17日、東京都武蔵野市の吉祥寺駅前で「2000万署名」の協力を呼びかけ

広げよう
2000万署名

「市民の会」は、署名推進のために東京土建三鷹武蔵野支部の渡辺久智書記長が呼びかけ人となり、三鷹・武蔵野市を中心に生協や共同作業所、劇団、反原

発の団体などで昨年12月に発定。今回が最初の行動です。

駅周辺11力所で

参加者は各10〜20人のグループに分かれ、駅周辺の11力所で署名を呼びかけました。メイン会場のバスロ

「市民の会」は、署名推進のために東京土建三鷹武蔵野支部の渡辺久智書記長が呼びかけ人となり、三鷹・武蔵野市を中心に生協や共同作業所、劇団、反原

中学生は「歴史の授業で第一次大戦の犠牲者が多いと

午後1時半に三鷹市の公園を出発、吉祥寺駅前まで

の約1.5キロを40分かけて歩いた。バスは、スタート時の250人程度が、飛び入り参加が相次ぎ、ゴール時には650人に。NO WARの文字をかたどった風船飾りや横断幕を掲げ、「武蔵野平和はつくれぬ」「国会をえよう、野党は共闘」などのコールを繰り返しました。

「何か自分にも」飛び入り参加した大田区の医師、高岡博子さん(44)は「戦争を止めるために何か自分ができることがないか」と述べました。

かと思ひ、ネットでパレードを知って来た。そのまま署名運動にも合流しました。

パレード出発地点には日本共産党の田村智子参院議員と民主党の菅直人元首相・衆院議員が参加。田村氏は「国民も立場の違いを超えて、政党も政策の違いは横に置いて、アベ政治を倒すために全力を尽くす時だ」、菅氏は「安保法廃止の実現のために、政党やいろんな人たちがまとまったほうが良い」という声を大きく上げていた。大きな声で述べました。